

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	抽選登録／宗教思想 2 (Religious Thought 2)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	欧米のキリスト教		
担当者名 (Instructor)	岩田 成就(IWATA SHIGENARI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ART1100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	教職課程を登録していない文学部学生用コード。(教職課程登録者は AL412 で登録すること)		

#### 授業の目標 (Course Objectives)

受講者が現代哲学に触れ、宗教について自分自身で考える機会を持つこと。

Course takers will have the opportunity to experience contemporary philosophy and think about religion on their own.

#### 授業の内容 (Course Contents)

「神なき時代」と言われる現代において、欧米の思想家たちは宗教や信仰の問題をどのように考えてきたのか。20世紀以降の思想家を数人取り上げ、その宗教思想を中心に紹介する。

In a modern age that has been called "a Godless age," how have Western thinkers approached questions of religion and faith? The course will take up and introduce several thinkers from the 20th century and later, focusing on their religious ideas.

#### 授業計画 (Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. ヤスパース: 哲学的信仰
3. ハイデッガー1: 死へ向かう存在
4. ハイデッガー2: 存在の神秘
5. レヴィナス: 他者としての神
6. ベルグソン: 閉じた宗教から開かれた宗教へ
- 7.フロイト: 幻想としての宗教
8. ユング: 元型と宗教
9. バタイユ: エロティシズムと宗教
10. ウィトゲンシュタイン: 語り得ないもの
11. デリダ: 「キリスト教」の脱構築
12. リクール1: 象徴は思考を促す
13. リクール2: 宗教批判を超えて
14. まとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

筆記試験は、授業の基本的な内容を問う問題 A(選択式)と毎回の授業でポイントとなる問いに対する問いに文章で答える問題 B(論述式)で行う。問題 B については、毎回の授業で問いが設定されるので、授業後に各自この問いに対する答えを作成しておく。授業に漫然と出席するのではなく、以上の課題に取り組みながら主体的に参加することを求める。

#### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(100%)

成績評価については、最初の授業で詳しく説明するので必ず出席のこと。期末のレポート試験は、授業の基本的な内容を問う問題 A(選択式)と毎回の授業でポイントとなる問いに対する問いに文章で答える問題 B(論述式)で行う。問題 B については、毎回の授業で問いが設定されるので、授業後に各自この問いに対する答えを作成しておく。授業に漫然と出席するのではなく、以上の課題に取り組みながら主体的に参加することを求める。詳しくは説明プリントを配布し、授業内でも説明する。

#### テキスト (Textbooks)

使用しない。「立教時間」を使って毎回プリントを配布するので、各自ダウンロードして授業にのぞむこと。

#### 参考文献 (Readings)

授業で詳しく紹介する。

#### その他 (HP 等) (Others(e.g.HP))

